

2019年度えんがわファンド助成 15団体への交付が決まりました！

調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成する市民活動支援センターのプログラム「えんがわファンド」の助成団体が決定しました。選考委員会での選考の結果、15団体（新規7団体）に助成金の交付が決定しました。助成を受けた団体の活動がこれまで以上に発展することを期待します。

また、えんがわファンドに資金を提供してくださったサポーター会員のみならず、関係者の皆様に感謝申し上げます。

	団体名	助成内容	助成額
1	ハッピー子ども食堂実行委員会	布田小学校エリアの地域住民・教員と連携した児童の見守り、親子の共食体験、食育交流の場の提供を目的とした子ども食堂における調理器具購入費	94,177
2	NPO法人 調布子育てを結ぶ こんぺいとうの会 こんぺいとう子育てひろば	地域で子育てする親子を身近な地域で応援する「子育てひろば」実施のための会場費、教材費	45,000
3	特定非営利活動法人 子どもの未来を紡ぐ会	さかのぼり学習の必要な児童・生徒等を対象の学習支援事業「学習教室ミライエ」リーフレット製作費、印刷費	32,820
4	調布デイズ	発達障がいのある児童・生徒・保護者・関わる大人を対象に、義務教育期間中・後の進路に関する情報や経験談を伝える講演会の講師料、会場費、広報費	79,508
5	調布市民健康づくり始める会	調布市民のための体操を取り入れたうたごえサロンにおけるプロジェクター購入費	50,000
6	NPO法人調和 SHC 倶楽部	発達障がいのある子どもの理解と支援の仕方を保護者、学校関係者、NPOスタッフが学び市民・利用者へ還元する為の連続講座における講師料	90,000
7	富士見あおぞら子ども食堂	貧困家庭や一人で食事する子ども達の食事支援を目的とした地域交流として実施する子ども食堂開設備品（備品購入費、調理器具購入費）	46,423
8	あおい発達障害当事者会	当事者会活動で蓄積されたリカバリーストーリー及び当事者が知っておくと得する情報をまとめた冊子「私たちはこうして生き抜いてきた（精神・発達障害編）」の製作費	100,000
9	ソーシャルワーク・ステーション 柴崎	空き店舗を活用し、住民主体で医療・福祉専門職と連携して運営する地域の常設ステーション開設費用（備品購入費、広報費、セミナー講師料）	95,372
10	健康歌声サロンの会	交流による一体感と脳トレ・歌体操による心身活性化を通して健康寿命を延ばすことを目的に実施する歌声サロン交流会の会場費、広報費、講師料	40,000
11	上ノ原迷い人ネットワーク	認知症になっても安心して外出できるまちづくりを目指して実施する「道に迷ったお年よりをみんなで守ろう！In 上ノ原」（講義、寸劇、見守り訓練）の広報費、保険料、消耗品費、通信費等	43,556
12	手作り市	手作りを通して人と人の輪を広げ、交流の場とすることを目的に実施するイベント（手作り物展示販売、ワークショップ、子供の先生体験）運営における広報費、ウェブサイト制作運営費	83,790
13	親子で歌い継ぐ日本の歌百選を歌い伝え継ぐ会	調布市柴崎で誕生した名曲「今日の日はさようなら」を調布の新たなシンボルとするために設置されたモニュメントを市民に啓発することを目的としたチラシ作成費	30,000
14	西部うたごえ広場の会	高齢者の孤立化防止と集いの場づくりを目的に音楽療法の技法を取り入れて実施する歌声広場のプロジェクター購入費、楽器購入費、歌集印刷費	100,000
15	ちいきち かに山冒険くらぶ	親子が安心して参加できる機会、世代を超えたつながり作り、生きる知恵の伝承、共同作業を通じた新しいコミュニティづくりを目的とした遊びの場提供のためのスタッフ育成費、講師料、備品購入費	49,000
		合 計	979,646